

森林の生き物調査の入口になる活動

森のウォークラリー

動植物や土などのテーマの課題をチェックポイント（CP）とするウォークラリー形式で、森の多様な要素にふれます。課題の答えをワークシートに記入しながら進みます。

○実施例

実施時期：春 時間：90分 実施場所：森林 指導者：2名 児童：30名
ねらい：楽しく森の様々な要素に接する。

プログラムの展開

時間	活動	備考
導入(10分)	あいさつ 活動説明 諸注意	服装と安全指導
活動(60分)	森のウォークラリー	1グループ4～5人程度
	CP0 マスターマップ ・ワークシートにCP位置を書く	
	CP1 わたしはこんな木（樹木） ・班代表がカードをひく ・カードと同じ木を探す	木と一緒に記念写真を撮ってもよい
	CP2 木の実がだいすき（動物） ・クルミの食痕サンプル3種類が 誰の食べたあとかを当てる	サンプルはリス、ネズミ、人間の食痕
	CP3 この玉は何？（昆虫） ・イヌツゲの枝先にある玉の正体 を選択肢の中から当てる ・チャートを見ながら話を聞く	正解は、イヌツゲタマバエによって できたイヌツゲメタマフシ(虫こぶ。 他の虫こぶでも良い)
	CP4 自然のいろいろ（色探し） ・班代表が色スティックを引く ・自然の中から同じ色を探す	色を見つけた場所で記念撮影をして もよい
CP5 落ち葉ワーク（土壌） ・地面の上に枠を置く ・枠の中の落ち葉をバットに移す ・落ち葉をよりわけ ・落ち葉の代表を台紙に貼り付ける		
まとめ(10分)	森についての感想	

道具：CP看板、ワークシート、（樹木）私はこんな木カード、樹名板、（昆虫）ルーペ、
チャート、（色探し）カラースティック、（土壌観察）枠、バット、台紙

持ち物：ボード、筆記具

準備：看板設置、道具配置、実施場所の安全確認